



横浜市立田奈小学校 学校だより

平成29年12月5日

12月号



みのたなくん

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tana/>

校長 二瓶 光代
TEL 981-0009

田奈っ子水田での学び

校長 二瓶 光代

今年の「田奈のみり」は、雨が予想されたため室内での餅つきとなりました。保護者、地域の皆様にたくさんのご協力を頂き、お陰さまで5年生が育てたお米の収穫を全校で祝うことができました。「子ども達ができる限り多くの工程を体験して、深い学びができるようにしたい。」という学校の願いを、地域の方は十分すぎるほど理解してくださり、種まき、育苗、千歯こきによる脱穀にも全員が取り組むことができました。先日、5年生は、これまでの種まき、育苗、田植え、草取り、稲刈り、脱穀という体験を振り返り、地域の方に手紙を書きました。「米を作るのに、こんなに時間がかかるのだなあと改めて思いました。」「手作業でぼくたちより広い田で・・・昔の人の大変さがとてもよく分かり、逆に今の機械化がとても楽だということが勉強になりました。」「社会科で農家の方が少なくなっていることを学び、将来の夢が一つ増えました。」など、食糧を生産することの大変さ・昔の作業の苦勞・社会科で学んだ現在の農業問題を踏まえて考えた自分の将来など、手紙を読むと子ども達は本当にいろいろなことを感じ、大切なことを学んできたことが分かります。

子ども達は地域の方の研究熱心なところや丁寧に質問に答えてくださる誠実さから、今後もかわり続けたいと思い、「(みのりで) いっしょに美味しいおもちを作りたい。」と手紙に書いていた子もいました。「自分たちで育てたお米を、おいしいおもちに変えて見せます。楽しみにしててください。」と、書かれた手紙もあり、そこからは、いろいろ教えてくださった地域の方への感謝の気持ちと、成長した自分に対する自信が感じられました。今年も、田奈っ子水田で、地域の方から生き方を学び、自分の生き方を考える学習が展開されました。保護者の皆様・地域の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

